



12▶



■ 適用病害虫と使用方法

2022年10月現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	500倍	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	移植7日前～ 移植当日	1回	灌注	1回	1回

【使用上の注意事項】

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓し、直射日光をさけ、冷涼な場所に保管してください。



水稻 殺虫・殺菌剤／育苗箱・灌注処理剤

ブーンバズ® SC

Find us on
 Facebookページにアクセス

本資料は2022年10月現在の知見に基づいて制作しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。



powered by CYAZYPYR® ACTIVE INGREDIENT
CYAZYPYR®、サイアジピル®はFMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。
ブーンバズ®、®はクミアイ化学工業(株)の登録商標



特長

新規の抵抗性誘導剤ブーン®(一般名:ジクロベンチアゾクス)を配合

ブーン®はクマイ化学工業株式会社が創製し、JA全農(全国農業協同組合連合会)と共同で開発した新規殺菌剤です。ブーン®は植物の病害応答反応を増強して病気にかかりにくくする病害抵抗性誘導剤として作用し、いもち病に高い効果を示します。また、水稻へ高い安全性を示します。

イネドロオウムシ・イネミズゾウムシに長期間の殺虫効果

ブーン®にサイアジピル®を配合することでいもち病に加えてイネドロオウムシ・イネミズゾウムシに対して長期間殺虫効果を示します。

省力化に貢献

灌漑処理剤のため作業の効率化が図れます。



いもち病



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ

有効成分と物理化学的性状

商品名: ブーンバズSC
 農林水産省登録: 第24660号
 開発コード: KUM-2002フロアブル
 種類名: シアントラニプロール・ジクロベンチアゾクス水和剤
 性状: 類白色水和性粘稠懸濁液体
 殺虫剤分類: 28
 殺菌剤分類: P8

有効成分	シアントラニプロール	ジクロベンチアゾクス
含有量	14.5%	31.5%
化学名	3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキサニリド	3-(3,4-ジクロロ-1,2-チアゾール-5-イルメトキシ)-1,2-ベンゾチアゾール=1,1-ジオキソ
構造式		
分子量	473.72	349.21
水溶解度(20℃)	14.2mg/L	0.36mg/L

安全性

■製剤安全性

人畜毒性(製剤):普通物(毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

試験の種類	供試動物	LD ₅₀ (mg/kg)
急性毒性(経口)	ラット	>2000
急性毒性(経皮)		データなし
皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
眼刺激性	ウサギ	刺激性なし
皮膚感作性	モルモット	感作性なし

■水産動植物への影響

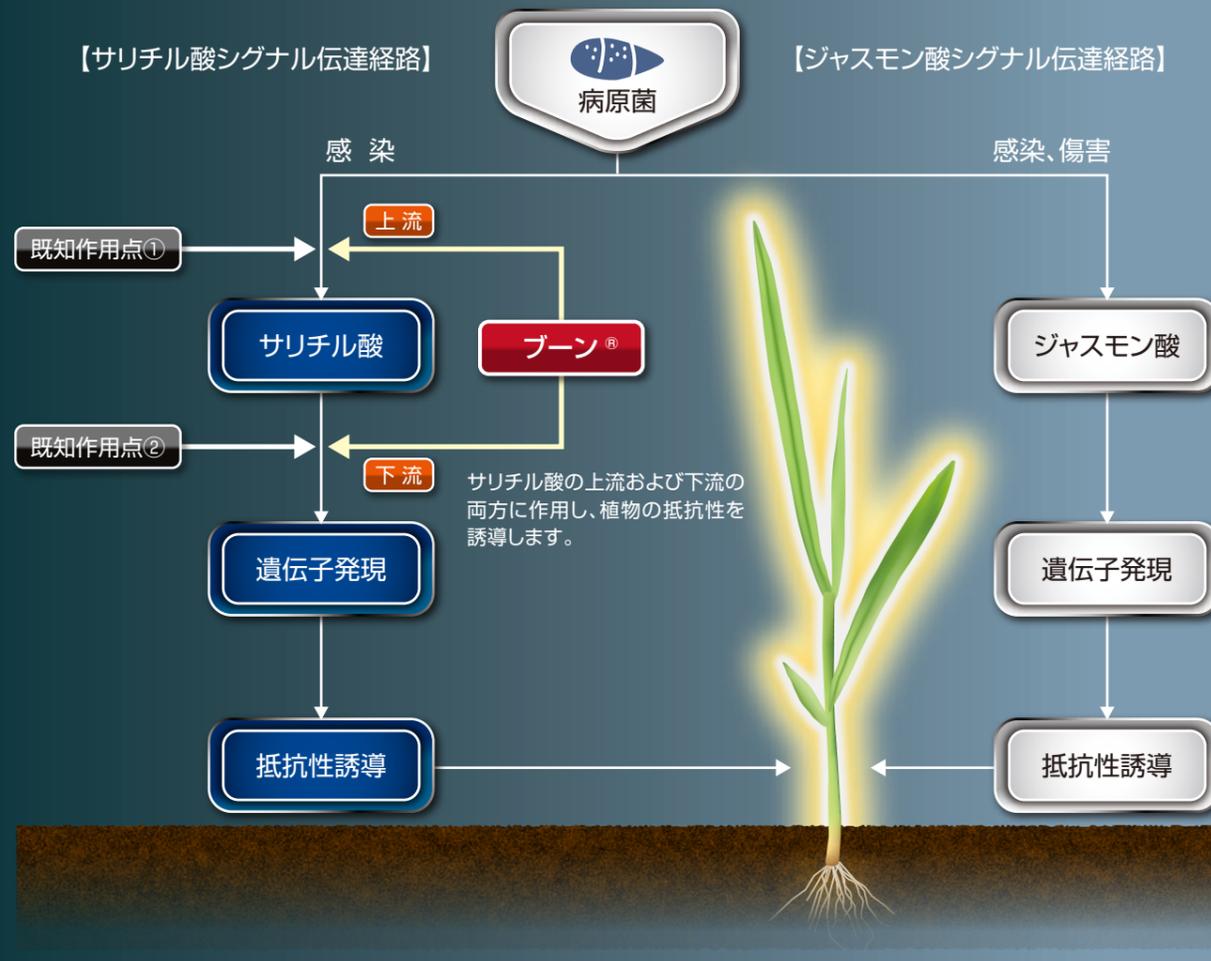
試験の種類	供試動物	LD ₅₀ またはEC ₅₀ (mg/L)
魚類急性毒性	ヒメダガ	26.51
ミジンコ類急性遊泳阻害	オオミジンコ	0.21
藻類生長阻害	緑藻	31



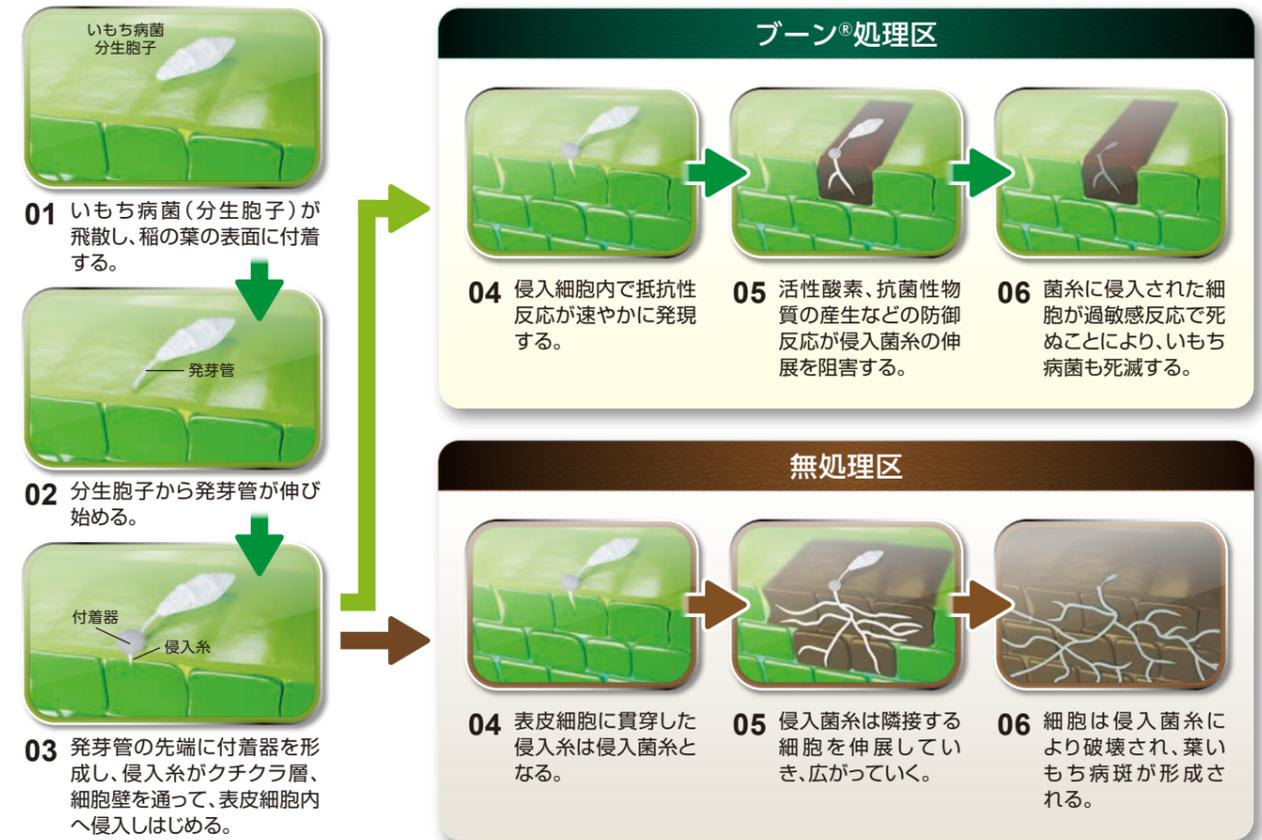
ブーン® (一般名:ジクロベンチアゾクス)

サリチル酸シグナル伝達経路を介した抵抗性誘導

ブーン®は、植物が本来備えている病害抵抗性を増強させる作用をもちます。処理すると有効成分が植物体内に移行し、植物の病害応答反応の1つであるサリチル酸シグナル伝達経路を活性化させ、植物体全体に防御反応を誘導します。(全身獲得抵抗性: SAR) 特に、ブーン®はサリチル酸合成の上流と下流の両方に作用するため、植物の病害抵抗性を安定して誘導すると考えられます。



いもち病菌の生活環とブーン®の作用性(模式図)



シアントラニプロール

筋肉細胞の筋小胞体は細胞内のカルシウムイオン濃度を調整することにより筋肉の収縮・弛緩をコントロールしています。シアントラニプロールは、筋小胞体のリアノジン受容体(RyR)に結合して筋小胞体内のカルシウムイオンを細胞内に放出させます。その結果、対象害虫は筋収縮を起こし速やかに活動を停止し、死亡します。

- ①コウチュウ目、チョウ目、及び一部のカメムシ目に高い効果を示します。
- ②既存薬剤に効果が低下した害虫にも高い効果を示します。
- ③主に経口で作用を発揮し、速やかに食害・吸汁害を停止させます。
- ④イネ体内への浸透性に優れています。
- ⑤長い残効を有します。
- ⑥人畜・鳥類・魚類への安全性が高く、天敵類へも高い安全性を有します。

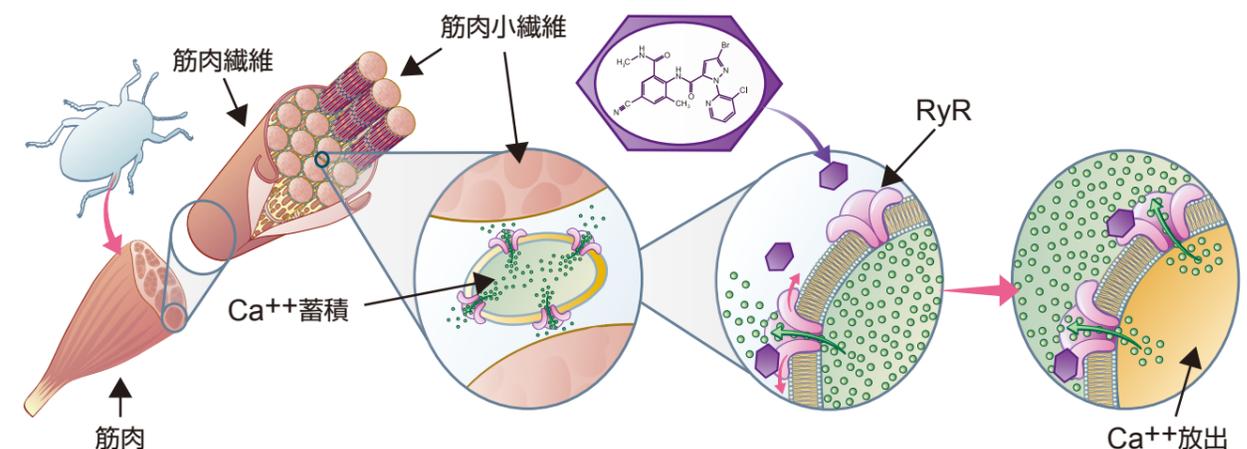
水稲の各種病害に対するブーン®のスペクトラム表

ブーン®はいもち病に高い防除効果を示します。また、いもち病以外にも白葉枯病や穂枯れ(ごま葉枯病菌)など幅広い病害に効果が認められています。

作物	病害	病原菌	効果
稲	いもち病	<i>Pyricularia oryzae</i>	+++
	紋枯病	<i>Thanatephorus cucumeris</i>	-
	白葉枯病	<i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i>	++
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)	<i>Cochliobolus miyabeanus</i>	++
	もみ枯細菌病	<i>Burkholderia glumae</i>	+
	内穎褐変病	<i>Pantoea ananatis</i>	+
育苗期	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	<i>Burkholderia glumae</i>	+
	苗立枯細菌病	<i>Burkholderia plantarii</i>	+
	苗立枯病	<i>Rhizopus chinensis</i>	-

- +++ : 効果高い
- ++ : 効果あり
- + : 低い効果あり
- : 効果不足

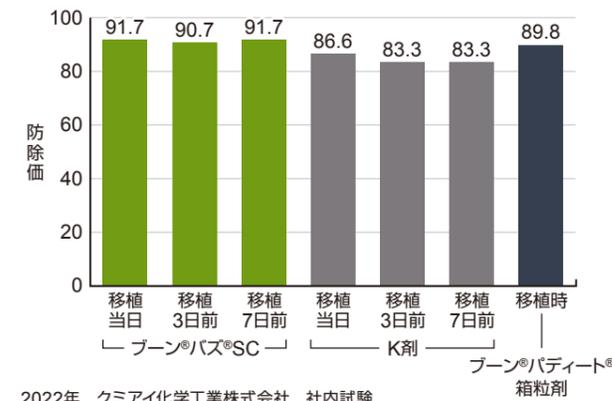
速やかな摂食阻害と作物保護作用



▶各種病害虫評価(新農薬実用化試験成績)

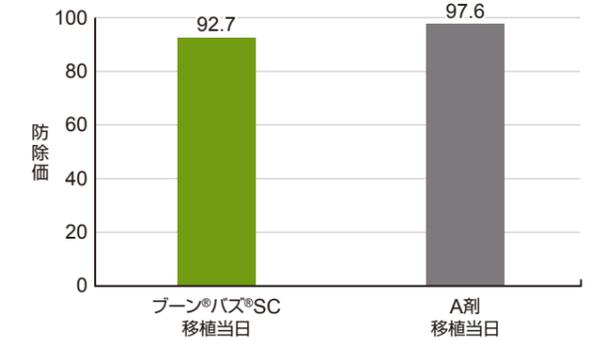
実施年度	作物名 栽培条件	病害虫名	実施場所	発生条件	濃度・量	処理方法	処理月日 <調査時期>	対照薬剤 処理条件	対対照	対無処理	判定	薬害
2020	イネ コシヒカリ 移植:4月10日 出穂:7月7日	いもち病(葉、穂)	日植防 高知	葉:少(接種) 穂:少	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	4月10日(移植当日) <葉:7月1日> <穂:7月30、31日>	A剤 50g/箱	葉:B 穂:B	A B	B B	— —
2020	イネ ひとめぼれ 移植:5月25日 出穂:8月15日	いもち病(葉、穂)	福島	葉:基(接種) 穂:中	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月25日(移植当日) <葉:7月20日、28日> <穂:9月8日>	B剤 50g/箱	葉:C 穂:B	C C	C C	— —
2020	イネ コシヒカリ 移植:5月27日 出穂:8月14日	いもち病(葉、穂)	長野	葉:中(接種) 穂:少	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月27日(移植当日) <葉:7月20日> <穂:9月3日>	C剤 D剤 E剤 いずれも 50g/箱	葉:B/C/C 穂:B/C/A	B C	B C	— —
2020	イネ コシヒカリ 播種:4月7日 移植:5月7日	イネミズゾウムシ	日植防 茨城	中	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月7日(移植当日) <移植50日後>	F剤 50g/箱	C	A	A	—
2020	イネ コシヒカリ 播種:4月27日 移植:5月21日	イネミズゾウムシ	日植防 山梨	多	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月21日(移植当日) <移植46日後>	G剤 50g/箱	D	B	B	—
2021	イネ コシヒカリ 移植:5月6日	イネミズゾウムシ	日植防 茨城	中	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月6日(移植当日) <移植48日後>	H剤 50g/箱	C	A	A	—
2021	イネ コシヒカリ 播種:4月26日 移植:5月21日	イネミズゾウムシ	日植防 山梨	多	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月21日(移植当日) <移植45日後>	I剤 50g/箱	B	A	A	—
2020	イネ コシヒカリ 播種:4月7日 移植:5月7日	イネドロオウムシ	日植防 茨城	少	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月7日(移植当日) <移植39日後>	F剤 50g/箱	B	A	A	—
2020	イネ コシヒカリ 播種:4月27日 移植:5月21日	イネドロオウムシ	日植防 山梨	中	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月21日(移植当日) <移植35日後>	G剤 50g/箱	B	A	A	—
2021	イネ 銀河のしずく 播種:4月15日 移植:5月15日	イネドロオウムシ	岩手植	中 (一部放虫)	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月15日(移植当日) <移植40日後>	J剤 50g/箱	B	A	A	—
2021	イネ コシヒカリ 移植:5月6日	イネドロオウムシ	日植防 茨城	少	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月6日(移植当日) <移植34日後>	H剤 50g/箱	B	A	A	—
2021	イネ コシヒカリ 播種:4月26日 移植:5月21日	イネドロオウムシ	日植防 山梨	中	500倍 0.5ℓ/箱	灌注	5月21日(移植当日) <移植42日後>	I剤 50g/箱	B	A	A	—

▶いもち病に対する効果



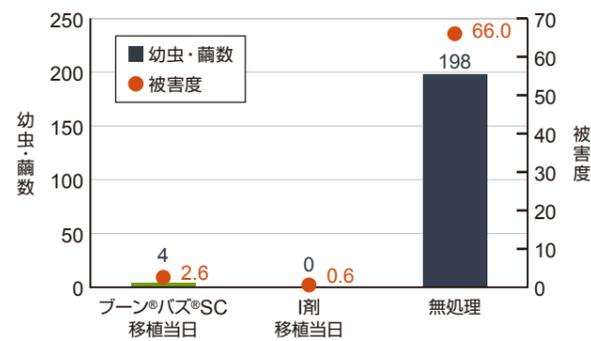
2022年 クミアイ化学工業株式会社 社内試験
 品 種: コシヒカリ
 区制・面積: 1/10,000a ワグネルポット/区 3連制
 播 種: 7月5日
 移 植: 7月22日
 接 種: 8月11日
 発生程度: 多発生(接種)
 調 査 日: 8月18日(移植27日後)
 調査方法: 各区の完全展開葉を対象に上位2葉に形成されたいもち病菌の進展型病斑数を調査し防除率を算出した。

▶いもち病に対する効果 (移植当日処理)



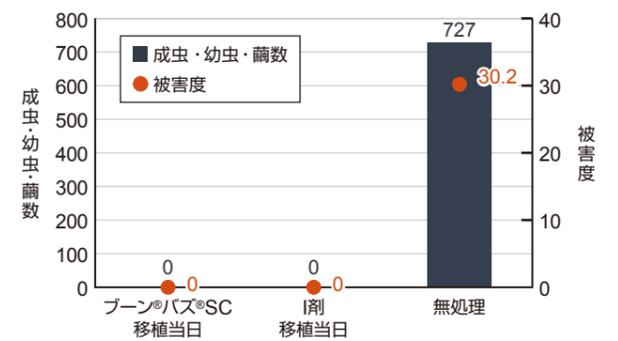
2020年 日本植物防疫協会 高知試験場
 品 種: コシヒカリ
 区制・面積: 57.6㎡ (4.8×12m) 2連制
 播 種: 3月7日
 移 植: 4月10日
 発生程度: 少(接種)
 調 査 日: 7月1日(移植82日後)
 調査方法: 各区17株の全葉について停止型と進展型病斑数を調査し、1株当たりの病斑数から防除率を算出した。

▶イネミズゾウムシに対する効果 (移植当日処理)



2021年 日本植物防疫協会 山梨試験場
 品 種: コシヒカリ
 区制・面積: 108㎡ (7.2m×15m) 連制なし
 播 種: 4月26日
 移 植: 5月21日
 発生程度: 多発生
 調 査 日: 食害調査 6月25日(移植35日後)
 根部生息虫数調査 7月5日(移植45日後)
 調査方法: 食害調査 区内中央付近4地点から連続した50株(計200株)について、葉の食害を程度別に調査し、被害度を算出した。
 根部生息虫数調査 各区4か所から任意の3株を掘り取り幼虫・蛹数を調査した。

▶イネドロオウムシに対する効果 (移植当日処理)



2021年 日本植物防疫協会 山梨試験場
 品 種: コシヒカリ
 区制・面積: 108㎡ (7.2m×15m) 連制なし
 播 種: 4月26日
 移 植: 5月21日
 発生程度: 中発生
 調 査 日: 7月2日(移植42日後)
 調査方法: 食害調査 区内中央付近4地点から連続した100株(計400株)について、葉の食害を程度別に調査し、被害度を算出した。
 虫数調査 区内中央付近4地点から連続した100株(計400株)について、成虫、幼虫、蛹数を調査した。